

相生歴史マップ資料 1 2 相生港ドッグ

1916(大正 5)年、鈴木商店が播磨造船所を買収し、造船所の拡張を図りました。造船所の工員は 250 人から 5000 人に急増し、西播磨で随一の大工場に成長しました。

第二次世界大戦においても、油槽船ゆそうの建造で大いに賑わいにぎました。

播磨造船所は、建造中に終戦となり、そのまま放置されていた「続行船」の建造と多くの漁船の建造でかなりの高収益を実現しました。

播磨造船所は、1960(昭和 35)年石川島重工業いしかわじまと合併し、石川島播磨重工業株式会社(現在の株式会社 IHI)として新たに出発しました。

この合併は、戦後最大の企業合併として大きく報道されました。1962(昭和 37)年からの 3 年間、相生事業所は単一工場として建造量世界一を記録しました。



↑ここは、かつて第三ドッグがありました。